



まちづくり住民ワークショップ

住民との協働による計画の作成を目的として4回にわたって開催された「まちづくり住民ワークショップ」では、参加者が各行政分野に分かれて熱心な検討を重ね、「まちづくり提言書」としてまとめました。

まちづくり提言書

三芳町長 林 孝次 様

まちづくり住民ワークショップ

第4次総合振興計画作成のための「まちづくり住民ワークショップ」におきまして、標記分野におけるくらしの課題を参加者が出し合い、重点化した上で、その方策などを施策としてとりまとめましたので、計画の中に反映していただきますよう、次のとおり提言いたします。

平成17年11月25日

【1 行財政・コミュニティグループの提言】

1 施策項目名 コミュニティ活動と行財政施策の作成、運営の一体化

2 施策の概要

住民の創意と意欲を活用し、特性のあるまちづくりをめざしていくために、行政が住民や企業とともに考え、協働してまちづくりが進められるような「仕組み作り」をどんな方法で醸成できるかを検討しました。

3 詳細 別紙1、2による

4 基本構想原案における関連基本方針

「パートナーシップのまちづくり」

<住民グループメンバー（敬称略）> 荒田 光男 内藤美佐子 吉田 政三

別紙1 施策の詳細

1. 重点施策

コミュニティ活動と行財政施策の作成、運営の一体化

～小さな行政・大きな住民パワー～

2. 施策の詳細

1) 行政の施策の作成と運営

① IT インフラ（本文略）

② 民間の持つノウハウ（本文略）

2) 施策の具体的な実現に向けて

① 施策の作成と運営に住民が参画できる仕組み作りを行う。（本文略）

② 住民意識の変革（本文略）

③ 行政評価の実施（本文略）

3. 基本構想原案を受けて

「パートナーシップのまちづくり」という関連基本方針について検討を行った。（中略）なお、構想の「しくみづくり」に次の点を提案する。

1) 三芳町が目指すパートナーシップ・モデルを別紙2として追加。

2) 住民の意識改革と関連して次の2点を追加。

① 住民のリーダーの養成と選択（本文略）

② 住民の参画者の組織化（本文略）

※別紙2は省略

【2 健康・福祉グループAの提言】

1 施策項目名

「365日バリアフリーのまちづくり」

2 施策の概要

NPOや住民と行政とのパートナーシップのもと、高齢者や障がい者が心豊かに安心して暮らせるノーマライゼーション・バリアフリーの社会の実現を目指す。

3 詳細 別紙による

4 基本構想原案における関連基本方針

「健康とぬくもりのまちづくり」

<住民グループメンバー（敬称略）>

川村 明	金井塚優美	静間 浩美	中林 洋子
林 耐生	三上 優子	山田あつ子	由水たけ子

別紙

少子高齢化や核家族化が進む中で、高齢者や障がい者が安心して心豊かに暮らせる社会を築くことは大変重要な課題です。（略）「あたたかな高齢者介護」「障がい者にやさしい」「もっと広げようボランティア」「いつでもどこでもバリアフリー」などを主な課題として検討を重ね、その実現に向けた施策をまとめましたので、ここに提言します。

1. 「移送サービスの充実」

（略）NPOの設立により移送サービスを組織化し、運転ボランティアや介護ボランティアを確保・養成しながら、サービス機能を充実させる必要があります。NPOの設立援助・サポート、情報の収集・公開、また、車両の提供や技術講習など、住民と企業、行政の役割分担を明確にしつつ、その体制整備のための総合的な支援をお願いするものです。（略）

2. 「道路・バス等の整備」

（略）道路整備においては、車椅子が通れる広い歩道や点字ブロックの設置、段差の解消など、公共施設においては障がい者用エレベーターの設置等、バリアフリーな施設整備を望みます。また、町内循環バスの新設やライフバスの増設など、公共交通機関の拡充にも努力し、高齢者や障がい者が活動しやすい環境整備を進めるようお願いするものです。

3. 「ボランティアの育成」

（略）移送サービスにおける運転ボランティアや介助ボランティアなど、（中略）講習会をはじめとする啓発活動等により人材の裾野を広げ、ボランティアの育成・確保を積極的に推進するよう提言します。

4. 「心と命のバリアフリー」の推進

ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、高齢者の孤独死が懸念されています。（略）地域住民組織の編成やボランティアグループの育成、また、それらのネットワークにより実効的に保護活動が実践できるよう支援し、高齢者等が安心して暮らせるまちづくりが推進されるよう提言します。



【3 健康・福祉グループBの提言】

1 施策項目名

「活かそう シルバーパワー」

2 施策の概要

高齢者が知識や技術を活かして働くことのできる場や、地域におけるボランティア、交流活動等でそのもてる力を有効に活用できる機会を拡充する。

3 詳細 別紙による

4 基本構想原案における関連基本方針

「健康とぬくもりのまちづくり」

<住民グループメンバー（敬称略）>

井上 悦子	岩城 桂子	刈屋 陽子	塩野 智恵
大力 修三	滝口 益子	豊島久美子	浜砂 豊子

別紙

（略）高齢者が家庭に閉じこもることなく、地域社会でいきいきと交流しながら、その力を発揮できるよう、「活かそう！シルバーパワー」を重点施策として掲げ、その実現に向けて次のとおり提言します。

【実現に向けて（詳細）】

1. 「私も主役・まだまだ元気」

（略）シルバーパワーを有効活用するには、就労意欲のある人、あるいはボランティア活動を望む人など、個々人の意向に即したきめ細かな情報提供や就労・活動機会の提供に努める必要があります。そのための方策として、

- ①三芳町高齢者事業団の登録制度を活用し、会員の増強を図る。なお、高齢者が永年培った多種多様な知識や技術を最大限活かすことができるよう、職種・職域を拡充しながら、就労の場の拡大、斡旋等、より充実した事業展開を図る。
- ②マンパワーを必要とするボランティア活動、伝統の継承を目的とした活動、次世代育成を目的とした保育所・幼稚園・学校の園児・児童との交流活動など、様々な地域ボランティア活動への誘引。

以上の施策を提言するものです。今後、シルバーパワーを有効的に活かしていくためには、就労登録制度の整備充実、ボランティアに関する登録や相談窓口の一本化など体制の整備を図ることで、高齢者がより参加しやすい環境を整えることが不可欠と考えます。

2. 「さあ出かけよう」

（略）高齢者の外出を促し、互いに誘い合い元気で暮らせるまちづくりための方策を提言します。

- ①外出中、ほっと一息つけるような憩いの場が必要です。緑をたたえたポケットパークが随所があれば、休憩場所になるとともに、仲間同士の集いの場としても活用されます。
- ②バス停やポケットパークにはあまりベンチが見受けられません。上記のような活用を促すためには、やはりベンチの設置も必要です。集会所の敷地内も同様です。（略）
- ③地区集会所を拠点としてシルバー体操を開催するなど、地域単位での交流会を活性化したり、地域内清掃や花植えの奉仕活動など、老人会の活動も幅を広げ、シルバーパワーを発揮できる場を拡大することが必要です。また、地域や各種団体の連携により多様な交流機会を提供し、積極的な呼びかけを行うことで、高齢者が気軽に社会参加しやすい環境を創りだしていくことも大切です。

【4 教育文化グループの提言】

- 1 施策項目名
「地域とともに育む、ひとづくり・まちづくり」
 - 2 施策の概要
「かつての三芳の文化を育んできた地域社会」から学び、「ひとづくり・まちづくり」に生かす
 - 3 詳細 別紙による
 - 4 基本構想原案における関連基本方針
「豊かな生涯学習をはぐくむまちづくり」
- <住民グループメンバー（敬称略）>
生田 実 梶 加寿子 関根 晶代 中村 栄子 向吉 孝子

別紙

はじめに

かつて三芳の文化を育んできた地域社会は、子どもから青年まで、それぞれの世代ごとに強い絆で結ばれ、まつりなどの年中行事を通じて互いに役割を分担して、年長者が年少者をいたわり指導することが行われ、地域の中で子どもを育み、秩序と人間関係を保ち、郷土愛と自我の確立に寄与してきました。こうした地域社会は、新興住宅地のみならず、古くからの住宅地においても現代化や流入人口の増加に伴う都市化によって失われつつあります。（中略）今後増え続けるシニア世代を地域に取り込み、培ってきた経験や技術を活かし、現代の地域社会モデルの再構築を目指して、「地域とともに育む、ひとづくり・まちづくり」をテーマに、つぎの施策を提言します。（中略）

「三芳の文化を育んできた地域社会」から学び、「ひとづくり・まちづくり」に生かすということであり、私たちの日々の生涯学習としてのさまざまな活動へつなげていくことを目指しています。

- 1 主な検討課題
「健康増進」「こども」「場所」「活動」「伝統文化」「国際交流」
- 2 重点テーマ
「地域とともに育む、ひとづくり・まちづくり」
① ころづくり ②（居）場所づくり ③学校と地域を結ぶ
④伝統文化を広げる ⑤国際交流
- 3 実現に向けて
①伝統文化を育て・伝え・発表する場をつくる（本文略）
②地域の中に伝統文化を広げる（本文略）
③体験学習ができる施設や環境を整備する（本文略）
④中高生の交流の場をつくる（本文略）
⑤子ども会の全地区での発足を目指す（本文略）
⑥国際交流センターを設置する（本文略）



【5 都市・みどり・安全グループの提言】

1 施策項目名

みどりの保全と緑化推進

2 施策の概要

優れた自然環境を保全し、緑化を推進することにより、安心して住み続けられる住み良いまちづくりを実現するために重点テーマを「みどりを守ろう！みどりを増やそう」と定め、その実現に向けて7つの提案をします。

3 詳細 別紙による

4 基本構想原案における関連基本方針

「みどり豊かで安心のまちづくり」

<住民グループメンバー（敬称略）>

桐山 幸雄

古賀 千恵

高木 美穂

田村 博一

富沢喜代美

林 伊佐雄

村上久美子

別紙

1 提言施策 みどりの保全と緑化推進

2 実現に向けて ～みどりのレインボープラン～「7つの提案」

①みどりを愛する人づくりの推進

（略）環境教育のネットワーク化とリーダー養成の体制づくりが求められます。また、みどりの保全を推進するボランティアの育成（リーダーの養成）など、町ぐるみで取り組むための推進体制の整備を提案します。

②みどり（雑木林と景観）の保全

農家が保持し続けられるような税の軽減策など、（中略）町民やボランティアによる管理・清掃活動への参加の高まりが、自然環境保全の大きな力になります。（中略）保存樹木・保存樹林の維持と指定拡大、特に、雑木林の保存（残して欲しい所）については、「竹間沢の斜面林（こぶしの里）」「藤久保唐沢地区及び緑地公園周辺の雑木林」「上富地区の宅地林と平地林」を提案します。

③緑を増やそう

町民一人ひとりが植樹運動に取り組み、公共施設（略）や事業所に於いても緑化を促進すると共に、物納国有地を町が取得し植樹することにより、市街地に自然公園を整備するよう提案します。

④緑（山林資源）の活用支援

（略）山林資源を活用した事業化（落ち葉の堆肥、椎茸栽培、炭焼き、ペレットストーブの普及など）を検討すると共に、緑のリサイクル事業の支援を促進するよう提案します。

⑤公園・緑地環境の整備

既存の公園・緑地環境の整備を促進（中略）、これらと公共施設を繋ぐみどりの散歩道を設置（中略）大規模開発の際は、大きな公園を作るなど、町民の憩いの場としての公園増設を提案します。

⑥「みどり」の啓蒙活動の推進

「みどり」をPRすると共に、学校の環境学習や公民館での体験学習、農家と町民との交流の拡大（中略）、「みどり」に関するイベントをとおして、（略）啓蒙活動を推進するよう提案します。

⑦「みどりの基金」の創設による財源の確保

緑の保全と緑化を推進するために、家庭や企業を対象に募金活動を実施すると共に、議会で趣旨採択された「みどりの基金」を創設し、特定財源を確保するよう提案します。

【6 産業・環境グループの提言】

- 1 施策項目名
 - 1) 「道の駅構想」の実現に向けて
 - 2) 「体験農園」や「市民農園」の必要性
 - 3) 「ポイ捨て禁止宣言のまち」の決議
 - 4) 「家庭ゴミ減量化作戦の実施」
- 2 施策の概要 別紙による
- 3 詳細 別紙による
- 4 基本構想原案における関連基本方針
「環境と調和した活気にあふれるまちづくり」

<住民グループメンバー（敬称略）>

井田 和宏 武田 直章 西山 崇 早川 徹 細谷 聡

別紙

- 1 「道の駅構想」の実現に向けて
(略) スマートICに伴う三芳PA周辺の地域活性化、仮称・三芳バザール賑わい公園、道の駅構想の実現を提案致します。(中略) 恵まれた「自然環境、歴史・文化、産業」等を積極的に活用した観光の創出にご配慮いただくとともに、町内外からの観光客誘致を目指した観光拠点施設・レクリエーション施設・農産物直売所等を設置し、地域の活性化に繋がる方向性をもった仮称・三芳バザール賑わい公園、道の駅構想の実現に向けた検討をお願い致します。
- 2 「体験農園」や「市民農園」で人とひとの交流を
(略) 地域の祭りやイベントとタイアップした「体験農園・イベント(略)」の開催や、「市民農園(略)」人とひととの交流を生み出す手段として、「場の提供」は不可欠であります。(中略) また、遊休農地の有効活用も兼ね、同時に人とひととの交流をも生み出せる可能性のある双方向型の提案であります。
- 3 「ポイ捨て禁止宣言のまち」の決議
(略) 主要幹線道路等に「ポイ捨て禁止宣言のまち」の看板等を掲出し、住民意識の啓発とモラルの向上を目指した住民総意による「ポイ捨て禁止宣言のまち」のご決議をいただき、「クリーンなまち創りの実現」を提案致します。
- 4 「家庭ゴミ減量化作戦の実施」
(略) 増加の一途を辿る家庭ゴミの排出量」この現象を一掃するため、
 - A) 家庭ゴミの排出量を最小限度に留め、ゴミを増やさない工夫をする。
 - B) コンポストや生ゴミ処理機等の普及を行う。
 - C) 家庭内の不要品をリサイクルする。この作戦成功のキポイントは、「住民一人ひとりの行動が実を結ぶ地道な日頃の努力」にあります。「家庭ゴミ減量化作戦の実施」を励行し、「処分経費の削減」を生み出し、新たな事業を展開していく財源の確保の為「家庭ゴミ減量化作戦の実施」を提案致します。

